

## 会 議 録

会議の名称	令和3年度第1回本庄市総合教育会議		
開催日時	令和3年7月15日(木)	午前・午後 午前・午後	1時45分から 3時8分まで
開催場所	本庄市立本庄東中学校 多目的室		
出席者	<p>構成員：吉田市長、勝山教育長、岡崎教育長職務代理者、落合委員（途中出席）、今井委員、高橋委員</p> <p>教育委員会事務局：高橋教育委員会事務局長、笠原教育総務課長、岡芹学校教育課長、柳教育総務課長補佐、瀧澤学校教育課長補佐、学校教育課亀田指導主事</p> <p>事務局：内田企画財政部長、橋本企画課長 新井企画課長補佐、企画課石橋主事</p>		
議題 (次第)	<p>1 開 会</p> <p>2 市長挨拶</p> <p>3 教育長挨拶</p> <p>4 議 題</p> <p>① 読書の推進について（意見交換）</p> <p>② 教職員の健康管理について（意見交換） ※非公開</p> <p>5 その他</p> <p>6 閉 会</p>		
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次第</li> <li>・ 資料1：読書の推進について</li> <li>・ 資料2：教職員の健康管理について</li> <li>・ 別紙資料1：こどもの読書活動優秀実践校（推薦書）</li> <li>・ 別紙資料2：職業性ストレス簡易調査票</li> <li>・ 別紙資料3：ストレスチェック説明会資料</li> <li>・ 参考資料：本庄市総合教育会議運営要綱</li> </ul>		
その他特記事項	総合教育会議に先立ち、本庄市立本庄東中学校メディアセンターを視察。		
主管課	企画課		

会議の経過	
発言者	発言内容・決定事項等
事務局 (企画課長)	<p>皆さまこんにちは。本日はお忙しいところ、令和3年度第1回本庄市総合教育会議にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。本日、司会を務めさせていただきます、企画財政部企画課長の橋本と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、これより会議を始めさせていただきます。</p> <p>なお、本日は傍聴の希望者はありません。</p> <p>また、本日の会議の議題2「教職員の健康管理について」は、本庄市情報公開条例第7条第1号における個人に関する情報に該当する内容を含むことから、本庄市総合教育会議運営要綱第6条に基づきまして、議事及び会議資料を非公開とさせていただきますことをご報告いたします。</p> <p>それでは、次第に沿って会議を進めさせていただきます。次第の2、市長挨拶でございます。吉田市長よりお願いいたします。</p>
市長	<p>皆さまこんにちは。本年度第1回目の総合教育会議にご参集いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>本日は本庄東中学校を会場としておりますが、実は私と岡崎職務代理者は、この学校が母校でございまして、来るたびに変わったなあと実感しております。この多目的室は、地域連携の大きな拠点となっており、私も諏訪町老人会の健康づくりの体操教室を見学したり、市民の第九合唱団の練習に参加したりなど、たびたび多目的室を訪れておりますが、本当に多岐にわたり使用されていると感じたところです。</p> <p>開会前の雑談でもお話しましたが、ワクチンの接種が全国的な課題となっており、お子さま方のワクチン接種の在り様についても大きく議論されているところでございます。ワクチン接種推進については、今後ともしっかりと進めていかなければならないと考えているところです。本日は、高橋先生もお越しですので、会議のその他部分において、ご所見等を頂戴できればと思っております。</p> <p>また、私自身、文科省の中央教育審議会の部会の委員を仰せつかっております。この部会では、GIGAスクール構想を進めていく中、これからの学びをどうしていくか、学校施設の課題、これから進んでいくであろう少人数学級に対する対応、また、現在も総合教育会議という形で、首長部局と教育委員会との連携を図っておりますが、今後はどのような形で連携を図るのか等、時代に即した教育の在り方についての議論が行われています。教育というのは、不易流行の精神で、どんな時代でも変えてはいけないものや、時代によって積極的に変えるべきもの、その2つのバランスをしっかりと取ることが大事だと感じているところです。</p> <p>昨年度の総合教育会議では、公民館事業、また、塙保己一遺徳顕彰事業、文化財の保存と活用など、様々な議題を取り上げさせていただきました。本日の議題は、高橋委員からのご提案である、読書の推進</p>

	<p>と教職員の健康管理について、話し合いをさせていただきたいと思っております。今後とも、総合教育会議の内容を充実させ、より良い本庄市の教育のため、皆さまにご尽力いただければと思っております。</p> <p>また、常日頃からの教育委員の皆さまの、教育行政へのご尽力に心から感謝を申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。本日は、どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
事務局 (企画課長)	<p>ありがとうございました。続きまして、次第の3、教育長挨拶でございます。勝山教育長よりお願ひいたします。</p>
勝山教育長	<p>皆さまこんにちは。ここ数日、非常に不安定な天気が続いておりますが、いよいよ梅雨明けも間近ということで、学校も来週の火曜日で1学期が終わり、夏休みに入るところでございます。昨年は、夏休みの期間が半分ほどに圧縮されましたが、今年は例年どおりの期間ということですが、ステイホームということで、子どもたちも外に出られない日々が続くのかなと思っている次第です。子どもたちには、オリンピックの観戦を楽しむと共に、本日の議題にもなっております、読書に親しむ時間をいつもより多く取ってもらえればと私自身思っているところでございます。</p> <p>本日は、読書の推進と教職員の健康管理についてと、2本が議題として挙がっておりますが、どうぞ忌憚のないご意見を頂戴できればと思っております。本日いただきましたご意見等をしっかり受けとめ、今後の教育の向上に努めてまいります。</p> <p>以上、簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願ひいたします。</p>
事務局 (企画課長)	<p>ありがとうございました。ここで、配布資料の確認をさせていただきます。</p> <p>① 本日の次第                  ②資料1：読書の推進について                  ③資料2：教職員の健康管理について                  ④別紙資料1：こどもの読書活動優秀実践校（推薦書）                  ⑤別紙資料2：職業性ストレス簡易調査票                  ⑥別紙資料3：ストレスチェック説明会資料                  ⑦参考資料：本庄市総合教育会議運営要綱</p> <p>以上、7点でございます。不足等はございませんでしょうか。</p> <p>続きまして、議題の4、議題に入らせていただきます。本庄市総合教育会議運営要綱第4条第1項の規定により、市長が本会議の議長となることとされております。これからの議事の進行につきましては、吉田市長にお願いしたいと思います。よろしくお願ひいたします。</p>
市長	<p>要綱に基づき、議事の進行をさせていただきます。会議のスムーズな進行にご協力をよろしくお願ひいたします。</p> <p>本日の会議録でございますが、本庄市総合教育会議運営要綱第7条第2項の規定により、「会議録には、市長及び市長が指名する</p>

	<p>1人の構成員が署名するものとする」とあります。本日の会議録につきましては、私と勝山教育長が署名するということによろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">(異議なし)</p> <p>それでは、事務局にて作成された会議録につきましては、本日出席の皆さまにご確認いただいた後に、私と教育長で署名を行うこととさせていただきます。</p> <p>では早速、議事に入らせていただきます。本日は議題が2件ございますので、まずは「議題1 読書の推進について」事務局から説明をお願いします。</p>
<b>【議題1】読書の推進について</b>	
事務局 (学校教育課長)	(資料1に基づき説明)
市長	<p>ただいま読書の推進について説明をしていただきました。これより先は、自由闊達にご意見やご質問等頂戴できればと思います。発言は1度だけに限りません。いかがでしょうか。</p>
今井委員	<p>個人差はあるかもしれませんが、最近では、読書が有効であるということが保護者にも理解され、うちの学生の卒論の調査では、幼稚園や保育園、ほとんどの家庭において、毎日ではないかもしれませんが、寝る前の読み聞かせが行われているそうです。ブックスタートを行うことで、小学校や一定の家庭において読書が根付いているようです。</p> <p>どちらかという、自分の意思が出てくるためなのか、部活動や塾で忙しいからなのか、年齢が高くなるにつれ読書する機会が減ってきているように思います。読書を推進するために新たな課題を行うことで、読書好きを減らしてしまうという可能性もあるかと思っておりますので、きちんと子どもの実態を捉え、興味が湧くような方策を考えていくべきかと思っております。</p> <p>読書というと、読書感想文がセットになっている部分もありますが、本を読んで紹介し合うビブリオバトルと言うのでしょうか、そういったことを中学生がやることで、本に対する興味が増すのではないのでしょうか。先生方が指導するのではなく、自由に紹介しあう形でもいいと思います。先ほど見たところ、読書カードという取組で、本の感想を述べることはすでに実践されているかと思っております。ただ、文章だけではなく、気軽に自由な時間の中で、こういう本が面白かったよと紹介できるような場が必要です。</p> <p>それから、図書室は本が綺麗で充実していると思いますが、やはり学級文庫の本は古いことがありますので、6年生が卒業するときには、本を売らずに寄付してもらいたいと思います。子どもが買って読んでいる本というのは、やはり他の子も興味のある内容だと思います。図書室とはまた違う内容で、学級文庫を</p>

	作っていただければ、中学生にもさらに興味を持ってもらえるのかなと思います。
市長	ご意見ありがとうございます。今井委員のご意見について、お答えやコメントがあればお願いいたします。
教育長	<p>今井委員のお話のとおり、中学生の読書については課題となっていて、やはり時間がうまく調整できないという点が大きなネックかと思います。中学校では、朝の静寂の中で1日が始まるように、朝会のある日を除く4日間を朝読書の時間としており、とにかく静かに漫画と雑誌以外の本を読んでいます。担任の先生は、指導や監視をするのではなく一緒に本を読み、担任外の先生も、職員室や廊下で本を読むという取組をしばらく行っていました。以前、学校がとにかく大変な状況で、時間になっても生徒が席に着かず、ざわざわした状況で1時間目がスタートするということがありました。静寂の中で気持ちを落ち着けて、授業をスタートするという、生徒指導上の意味合いも含め、朝読書という取組が始まりました。取組により、子どもたちが落ち着いてくる中、学力向上も大切だということで、4日間やっていた朝読書の時間を2日間とし、あとの2日間は勉強の時間にする方向へと、少しずつ変化してきている実態もあります。この朝読書の時間を、今後どのように確保していくかが課題だと思います。</p> <p>それから、今井委員のお話にもあったように、興味関心を持ってもらえるような本を紹介することで、友達同士でこういう本が面白かったと、情報交換ができればいいのかなと思います。かつて、私が現場にいた頃も、読書感想文はあまり評判が良くありませんでした。私も昔、本のあらすじを書いたところ、これは感想文ではないとよく言われておりました。現場にいた当時、このくらいの紙（A5サイズ）に、自分の名前と読んだ本、一言コメントを記入し、後ろの黒板に1人1人のスペースを確保して貼り出し、たくさん読むと紙が積み重なっていくというような取組をしたことがあります。工夫して時間をやりくりし、本に親しんでもらうことは、小学校よりも中学校のほうが課題は大きく難しいかと思います。</p>
今井委員	そうですね。あとは興味ですよ。好きな子はどんどん本を読むと思いますが、本に興味がなく文字を見るのが嫌という子に対し、どのような対応をするかという部分が大事だと思います。図書室にも漫画がありましたが、活字を見て座って静かに過ごすという時間が、第一歩なのかなとお話をお聞きして思いました。
市長	漫画も読書に親しませる方法の1つだということですね。
今井委員	活字だらけの本はどうしても嫌だという子に対しては、そこを取っ掛かりとしてもいいのかなと思います。
市長	私も、歴史は文章で見るとよりも、漫画で見たほうがスッと入ってくると思います。

教育長	歴史の漫画は、結構学校にありますよね。
市長	今見ましたが、たくさんありましたね。結局は文字を読むので、ああいった本は大切だと思います。
今井委員	そうですね。
市長	高橋先生、この話をいただいたのには、いろいろとお考えがあったようにお聞きしておりますが、ぜひお願いいたします。
高橋委員	<p>はい。私は子どもの頃、騒いでばかりいましたので、落ち着かない子どもだと言われておりました。今で言えば、発達障害だったのではないかなと思うぐらいですので、あまり自慢できることはありませんが、本を読むのが本当に好きでございました。</p> <p>今井委員のご説明のとおりで、どのように子どもに興味を持たせ、読書に親しませるかというところが、やはり1番のキーだと思います。私は冒険小説が非常に好きでしたが、日本にはあまり冒険小説がなかったので、海外のハックルベリー・フィンの冒険といった様々な本を読んだ記憶がかすかにございます。例えば、自分が4年生の時に読んだ本を、次の新4年生にこの本が面白かったよと、学年をまたいで情報をもたらすことが、より有用なのではないかと思います。もちろん、読書感想文や個人目標でもいいかもしれませんが、面白かった本の情報を、上級生から下級生に教えてあげるのも良い方法かなと思います。</p> <p>拙い意見ですが、以上です。</p>
市長	<p>今の高橋先生のお考えで、ハッと気づいたのですが、今はタブレットがありますので、情報共有がすごく簡単にできると思えました。例えば、タブレットの中に、1年生のときに読んで楽しかった本やタメになった本を紹介するコーナーをつくれば、みんなが簡単に共有できますよね。昔であれば、共有するとしても冊子にするしかなく、皆が見られるとは限りませんでした。そういう点もクリアできるのではないかなと気づきを感じましたので、コメントさせていただきました。</p> <p>他に皆さまからコメントなどありますか。岡崎委員はいかがでしょう。</p>
岡崎委員	<p>読書というのは、書を読むという文字どおりで、なかなかとっつきにくいなと思います。いくら子どもに読書をしなさいと言っても、好きな本であれば興味を持って自分から読みますし、興味がないものはどう言っても読みません。その興味をどう広げていくか、ということになるのかなと思います。</p> <p>先ほど、漫画の話がありましたが、図書室にも鬼滅の刃があるようで、やはり漫画はとても人気があるようです。今の漫画も、ストーリー的には侮れないものもありますし、難しい漢字を使っているのも、ある意味勉強になるのかなと思う部分もあり、漫画もそういったポジションを築きつつあるのかなと思います。</p> <p>また、読書を自宅で勧めることは難しいので、やはり学校で積</p>

	<p>極的に機会をつくり、1日最低10分でも、週に何回か行うことで読書する習慣がつくと思いますので、ぜひ続けていただければと思います。今は、タブレットやスマホがあるので、朝起きたらそれを見るという習慣が、子どもに出来つつあるので、それは良くないかと個人的に思っております。そういう部分を落ち着かせるために、自宅でも読書の時間が取ればいいのですが、なかなか難しい状況です。学校をきっかけに、読書に定着するような働きかけをしていただければと思います。</p> <p>雑駁な意見ですが、以上です。</p>
市長	スマホは見ちゃいますよね。
岡崎委員	親も見て、子どもも見ているという状況ですね。
市長	情報量は膨大ですが、自分の好きなものしか見ませんし、好みに合わせた情報しか出てこないの、余計に見てしまいます。
岡崎委員	狭い世界ですよ。
市長	非常に膨大な情報量があるにも関わらず、自分の好きなものだけ見てしまう傾向がありますからね。
岡崎委員	それだけでは、ちょっとまずいかなと思います。
市長	<p>正直に言いますと、スマホがない時代に、子どもが小中学校を卒業していて良かったなと思っております。読書は活字だけなので、とても無味乾燥に思えますが、活字を読みながら頭の中で想像して、表象能力を養い、それが発達すればするほど、物事の先を読んだり、俯瞰的に見れたり、人の気持ちがわかったりと、そういったことに繋がってくると思います。読書は人間の幅を広げるためにはとても大切で、いじめをなくすために読書をするということは、風が吹けば桶屋が儲かるということではなく、非常に意味のあることだと思います。どうしたら読書に親しめる環境をつくれるかというのは大きなテーマですが、ぜひ各学校で頑張ってくださいと思うところです。</p> <p>何か他にございますか。</p>
高橋委員	先ほど、今井委員からありましたが、子どもたちの学級文庫について、購入するのは大変かと思っておりますので、例えば父兄や卒業生から、図書へのドネーションをいただくのはどうでしょうか。私もささやかですが、図書館に少しずつ読み終わった本を寄付していますが、そういった工夫を現場でもお考えになられているのかお伺いしたいです。
市長	現場における寄付についてのご質問ですね。本の寄付について、どのような状況にあるか、お答えできる範囲でお願いします。
事務局 (学校教育課長)	はい。私も昨年度まで学校現場にいましたが、例えば広辞苑など、自分が読まなくなったという本をいただいたことが何度もございました。あとは、お子さんが読まなくなったということで、低学年向けの絵本をいただいたりすることもよくありました。裏側にお子さんの名前が書いてあったりするのですが、それはそれ

	<p>で味があるというか、子どもたちもとても喜んでおりました。</p> <p>東中学校では、図書委員会の子どもたちをブックオフに連れて行き、本を選んで購入しているという話を担当から聞きました。</p>
教育長	<p>資源回収等のお金を各学級に3,000円程度割り振り、自由に本を買ってもらう取組などがあります。ブックオフですと、本が結構買えるのですよね。</p>
今井委員	<p>1冊100円とかですもんね。</p>
教育長	<p>児童書の場合、不朽の名作というのは、いつの時代でも通用するものです。そういった本を捨ててしまうのはもったいないので、あまり汚れていなければ、声をかけて学校に寄付していただければと思います。私も家を片付けていたところ、子どもが読んでいた本が綺麗な状態でたくさん出てきたので、地元の児玉小学校に寄付しました。あとは、そちら（多目的室内）にも、私が読んでいた本がたくさん置いてあるのですが、本日は校長会がありましたので、校長先生方に欲しい本を持って行ってもらいました。再利用というのも大事だと思います。</p>
今井委員	<p>市立図書館では、要らなくなった本を入れてくださいというコーナーがよくありますよね。</p>
市長	<p>先日、とある元議員さんから、家を片付けていたら本庄市史がたくさん出てきたので、どうしたものかとお話がありました。図書館に聞いてみたところ、本庄市史は欲しがっている方がいるので、こちらで預かり、図書館から欲しい方に差し上げたいとのことでした。本庄市史は絶版になってしまっているのですが、図書館にもたくさんあるわけではないそうです。元議員さんも非常に喜んでおりましたし、図書館もそういった使い方があるのかと、面白く思いました。</p> <p>中にはあまり価値がない本もあり、学校現場で困ってしまう場面もあるかもしれませんが、寄付はその都度受付しているということなので、大丈夫かと思えます。</p> <p>これからの展望はどうなのでしょう。電子図書という話も出てきていますが、紙での読書も非常に大事だと思います。電子図書はもう入ってきているのですか。</p>
教育長	<p>電子図書はないですね。</p>
今井委員	<p>電子教科書はあるのですよね。</p>
教育長	<p>教科書はタブレットを使っていますが、タブレットで読書をするには課題もあると思っています。教科書は別として、目の問題もあるので、本を読むのであればkindleなどの専用の電子機器を使用したほうがいいのかと思います。情報化の時代だからこそ、紙の本をどのように取り扱っていくかというのは、しっかり考えていかなければなりません。何でもかんでもタブレットや情報機器に、とはならないのではないかと思います。</p>

市長	<p>おっしゃるとおりですね。教科書は、デジタルにすることで情報量が入るため、動きがわかるなど、様々な面で良いところがあります。タブレットは欲しいものをクリックしていけば、必要な情報が出てきますが、紙の場合そうはいかないので、どう想像して考えていくかが、非常に大事な作業かと思えます。</p> <p>他にどうでしょうか。ないようでしたら、読書につきましては以上とさせていただきます、次の議題に入りたいと思います。</p> <p>続いては「議題2 教職員の健康管理について」でございます。まず事務局から説明をお願いいたします。</p>
<b>【議題2】教職員の健康管理について</b>	
(非公開事項)	
市長	<p>ありがとうございます。落合委員もいらっしゃいましたが、時間が押しておりますので、議題につきましては、以上とさせていただきます。その他ということで、私から教育委員の皆さま方にご意見を伺いたいことがございます。</p> <p>今後のワクチン接種についてですが、本庄市においては、お子さん方を集めて接種するようなことはせず、できれば大人たちと同様に接種券を配布して行っていく形が良いのではないかと現時点では考えております。</p> <p>皆さま方に配布される接種券に同封されている紙に、7月20日から基礎疾患がある方の予約を受付、8月2日から64歳から60歳の方、8月9日から59歳から55歳の方の受付を行い、その後は、年齢の幅を広げて受付をしていこうかと思っておりましたが、ここにきてワクチンの供給量が非常に少なくなりました。そのため、7月20日からの基礎疾患がある方の予約は受付しますが、8月については予定が見えていない状況です。見えていない状況ですが、60歳以上の方については、基礎疾患のある方と一緒に予約を受付、それ以降の方については、年齢制限しないで大きく予約を受付していく予定です。</p> <p>1回の予約につき、予約できる本数は限られておりますので、年齢制限しないとは言いますが、全員分の予約枠が確保できているわけではありません。ただ、年齢の幅を区切らないことで、12歳から16歳程度のお子さんも、保護者の同意があれば、年齢の高い方々と一緒に接種することが可能となります。</p> <p>お子さんの集団接種については、現時点では考えておりませんが、その方向性について、教育委員の皆さま方からご意見を伺いたいと思ひ、お諮りさせていただくものです。</p>
高橋委員	<p>少し逸れてしまうかもしれませんが、教職員に対する接種について、コメントいただけますか。</p>
市長	<p>すいません。教職員については、優先接種という形で始めております。高齢者の方々が終わり、一般接種に移る時期を狙い、優先接種枠ということで、教職員や幼稚園、保育園の先生方には早</p>

	<p>めに打っていただく体制を整えております。</p> <p>皆さまにお諮りしたいのは、学校等で集団接種をしなくても良いかという方向性についてです。年齢を刻んでいくと、若い人が最後になってしまうので、あまりやりたくありません。自治体によっては、夏休み中に受けられるように体制を整えているところもあるようですが、反対の意見も出ているなど、いろいろと混乱が出ているようです。なるべく早く受けたい人が受けられるようにしたいと思いますが、国からの供給量が少なく本数が限られているため、当初の予定よりは遅れてしまっていますが、そのような方向で考えております。</p>
今井委員	<p>接種をしたかどうかで、いじめに繋がる懸念もあるので、保護者の同意のもとに保護者と一緒に受けるなど、誰が受けているかが、はっきりしない形で行う方がいいのかなと思います。</p>
市長	<p>ありがとうございます。他にいかがでしょうか。</p>
岡崎委員	<p>私も、家族と同じタイミングで、打ちたい人が打つというやり方でよろしいのではないかと思います。家庭によって事情があると思いますので。</p>
落合委員	<p>私も岡崎委員と同じ意見です。家族の中で受ける受けないを判断してもらい、家族の方が責任を持って接種した方が、トラブルや行き違いが起きないのではないかなと思います。</p>
市長	<p>ありがとうございます。予約システムでは、同時に10人まで一緒に予約ができる仕組みになっているので、ファミリーでの予約も可能となっています。</p>
今井委員	<p>うちの学生が受けたあとの様子を見てみると、やはり若い子の方が副反応は強く出るみたいなので、家族と一緒に受けた方がいいのかなと思います。</p>
市長	<p>どちらかが倒れたり、副反応で動けなくなったりする場合は考え、夫婦で受けない方がいいと言う人も中にはいるようですね。</p>
落合委員	<p>高橋先生にお聞きしたいのですが、どこかの調査で、健康保険制度を展開するとき、ホームドクターを使うことで、ホームドクターと家族、行政がうまく繋がるというような内容がありました。ホームドクターでも接種はできるのでしょうか。</p>
高橋委員	<p>やっています。個別接種という考え方だと思います。ただ、手挙げ制なので、本庄市にある6～7割ぐらいの医院が接種を行い、3割ぐらいの医院がお年寄りであるとか耳鼻科や眼科だからという理由で、接種しないとしています。ほとんどの内科の先生が、手を挙げており、毎日6人ずつ1週間に30人に対し接種をしています。ただ、1日6人に接種しているところもあれば、1日100人に接種しているところもあります。そうすると、6人のところはすぐいっぱいになってしまい、かかりつけではない医院に回されてしまうこともあります。本庄市では市長さんの英断で、ハイブリッド型として集団と個別を同時並行的にやっています</p>

	が、残念ながら、ワクチンが絞られているので、なかなか集団接種が行えない状況です。医師会も、保健センターや保健部長さんたちと緊密な連絡を取りながら、1週間に何人分のワクチンが出るといった会議をしております。
落合委員	そういった情報は、しっかりと市民の方へ発信できているのでしょうか。
市長	今回、64歳以下の方に接種券が発送されましたが、同封の用紙に打てる病院の一覧を掲載しています。コールセンターへ電話して予約する病院と、個別に予約する病院が載っていますので、ご確認いただければ大丈夫かと思えます。
落合委員	わかりました。
市長	<p>ご意見ありがとうございます。医師会の先生方には、本当にご協力いただき、高齢者の集団接種なども、かなりスピーディーに行っていただきました。おかげで、本庄市は高齢者の接種については非常に早く始められ、いろいろと課題もありましたが早めに終わられそうです。今後については、ただ今ご意見をいただきましたので、お子さんについては集団接種を行わず、家族と一緒に受けられるような形としたいと思えます。本日は、教育委員さんにご確認していただき良かったなと思えます。</p> <p>最後に、私から申し上げたいのですが、コロナ禍における、昨年度の教育について、全国的な検証が行われているところです。いろいろとショッキングなデータも出ており、地域によっては一律に学校を閉じてしまい、しっかりした対策を行っていなかったことで、如実にお子さんの学力低下が起きてしまったような地域もあれば、頑張ってきた結果が出ているような地域もある状況だそうです。本庄市では、昨年、緊急事態で学校閉鎖となっても、教育長の英断で週2回登校日を設けることができましたが、先生方も大変ご苦労されたかと思えます。また何が起こるかわかりませんし、国が音頭を取っていても、最終的な判断は地方自治体が行わなければならない時代であるということを感じましたので、コロナ禍における本庄市の教育がどうだったかという検証を、ぜひ教育委員会にお願いし、総合教育会議において報告していただければと思っています。次回の総合教育会議では、そういった報告をお願いしたいと思うのですが、皆さまいかがでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>よろしいでしょうか。ありがとうございます。</p> <p>では、次回の申し送りということで、事務局で受け止めていただきたいと思います。よろしく願いいたします。反省点や良いこと悪いこと、全て含めた検証が必要かと思えますので、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは議事については、これにて終了とさせていただきます、あ</p>

	とは事務局にお任せいたします。スムーズな進行にご協力いただきましてありがとうございました。
事務局 (企画課長)	皆さまには慎重審議大変ありがとうございました。最後に、その他といたしまして、今後のスケジュールについて、事務局よりご説明いたします。
事務局 (企画課長補佐)	今後のスケジュールについて、ご説明いたします。次回、第2回総合教育会議の開催につきましては、10月頃を予定しております。以上でございます。
事務局 (企画課長)	以上をもちまして、本日の日程をすべて終了いたします。本日は、ありがとうございました。

市 長

吉 田 隆 解

教 育 長

勝 山 勉